

年男 96歳
1926年(大正15年)生まれ



楽しむために、長生きを
若いときは仕事や趣味の釣りで全国を飛び回っていたのが思い出。今は、外に出る機会がないけれど、孫と一緒に飲むお酒は特に上手い。平常に戻ったら温泉に行くのも楽しみの一つです。また、ひ孫が9人いて、楽しみがたくさんです。だから健康で長生きして100歳まで生きたいね!

坂本 隆一さん (坪谷・22区)

年女 84歳

1938年(昭和13年)生まれ



新たな日常の楽しみを満喫

歌を歌うのが好きで、カラオケやコーラスを楽しんできましたが、体力も落ちてきて、音楽連盟を始めいろいろのものを一段落させた昨年。今年からは自分の時間を大切に、落ち着いた日々を過ごします。ずっとやろうと思って溜まっている洋裁でもしながら、新たな楽しみを満喫します。

安部 達瑠子さん (水立大黒・23区)

年男 92歳

1950年(昭和25年)生まれ



健康寿命を延ばすために

コロナ禍前は旅行が趣味で、バイクで日本一周を目指したこともあり。その命を延ばすことに意識が向いています。スポーツ吹矢や水泳で体力を維持し、陶芸や七宝焼きで頭を使い、今の体力をできる限り長く持続させていきたいです。

青島 良次さん (前原・4区)

年女 60歳

1962年(昭和37年)生まれ



最後までチャレンジの年に

定年退職まで残り1年。今年も高い目標を掲げて、最後までチャレンジを続けていきたいです。仕事以外では、自分に甘くなってしまわないように気持ちはここ10年持ち続けています(笑)。今年こそはスポーツを始めて体を動かすきっかけを作りたいと切に願っています。

横田 久江さん (藤川・16区)

寅 2022



年男 48歳
1974年(昭和49年)生まれ



子どもと一緒に目標に向かい
子どもがバスケットボールを始めて約1年。私も今では同チームのコーチに。子どもにもバスケを楽しんでほしいとの思いで指導しています。最近『勝利欲』が開始した子どもたちの姿に日々の成長を感じています。今年も子どもたちと一緒にバスケットボールを楽しむ年にしたい!

高橋 仁さん (十三坊原・6区)

年女 26歳

1986年(昭和61年)生まれ



健康に気を付け、新たな挑戦を

昨年はあらためて『健康が大切』って考えさせられる1年でした。今年も健康第一を心掛けていろいろと挑戦したいです。体を動かすのが好きなので、小学生～社会人まで続けていたバドミントンを再開できたらいいなと思います。そして、コロナ禍が明けたら大好きな旅行も再開したい!

富岡 美穂さん (古家十軒・30区)

年男 24歳

1998年(平成10年)生まれ



職場やチームに貢献するぞ

昨年は社会人1年目がスタート。少しずつ仕事も任せられるようになり、自信もついてきた気がします。また、ずっと続けている野球も、昨年は全国ベスト16の結果。今年もっとチームに貢献するとともに、さらなる高みを目指して頑張りたいです。仕事も野球も頑張るぞ!

山本 優也さん (前谷東原・2区)

年女 12歳

2010年(平成22年)生まれ



全国のうれしさをもう一度

4歳のときから続けているレスリング。練習は大変なこともあるけれど、楽しい時間の一つになっています。小学4年生のときにとった全国1位のうれしさが忘れられないので、中学生になったら、もう一度狙いたいと思います。それと、勉強も頑張らなくちゃと思います。レスリングと勉強の文武両立!

本間 あみさん (西ノ根宮内中島・24区)

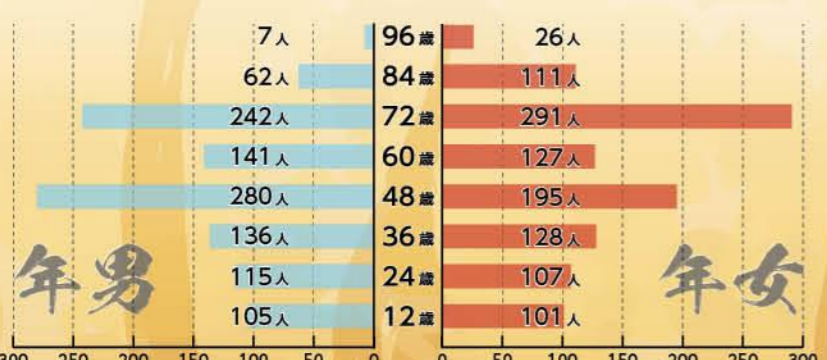


図1 邑楽町の年男・年女(寅年生まれ)の人口(令和3年12月15日現在)

データで見る、寅年生まれ
町の年男と年女をデータで見ると、寅年生まれの人数は2,174人で人口の約8.3%でした(図1)。
世代別に見ると第一次ベビーブーム(昭和22～24年)の翌年である昭和25年生まれが533人と最も多く、次いで第二次ベビーブーム(昭和46～49年)である昭和49年生まれが475人となっています。

年男・年女に聞く 寅年の抱負

2022年は「寅年」。そして生まれ年と同じ十二支を迎える人を年男・年女と呼び、とても縁起が良いといわれています。新年を迎え、気持ちも新たな町内の年男・年女の人たちに今年の抱負を聞きました。



紙面を飾るのは、高島公民館で行われた「千支の編みぐるみ教室」に参加した皆さんの作品(関連23ページ)。